

8月 定例教育委員会会議録

- | | | | |
|---|------|--|--------------------|
| 1 | 日 時 | 令和2年8月27日(木) | 午後5時30分から午後6時36分まで |
| 2 | 会 場 | 磐田市役所 西庁舎3階 | 特別会議室 |
| 3 | 出席者 | 村松啓至教育長
杉本憲司委員、青島美子委員、秋元富敏委員、鈴木好美委員 | |
| 4 | 出席職員 | 市川 暁教育部長、神谷愛三郎教育総務課長、川倉彰裕学府一体校推進室長、木野吉文学校給食課長、吉村康宏学校教育課長、鈴木都実世中央図書館長、伊東直久文化財課長、磯部公明地域づくり応援課長、水谷美すゞスポーツ振興課長、大庭茂文化振興課長、富田和孝福祉課長、伊藤里香幼稚園保育園課長補佐 | 傍 聴 人 0人 |

(進行委員：秋元富敏委員)

1 開会

2 教育長あいさつ・教育長報告

○皆さんこんばんは。教育委員の皆様方は総合教育会議に引き続き、定例教育委員会にご参加いただきありがとうございます。今年の夏は暑く、浜松市では日本最高気温となる41.1℃を記録しました。また、新型コロナウイルス感染症への対応など、予想しない出来事が数多く起こっています。この暑さは、南の国の出来事のように思っていました。40℃を超える気温が身近で発生し、地球環境の変化に驚かされました。特に、ここ数年の変化は大きいと感じています。地球環境や人間社会の大きな変化が身近で起こっていることを、それぞれで自覚することが大切であると思います。

「昔は、星空がきれいに見えるね」「この丘の夕日がきれいだったね」「昔はこの街にお店がいっぱいあって賑やかだったね」「こういう建物があつたね」という、いろいろな想いがあります。その一方で、「今は何もなくなってしまった」など、地球環境の変化による景観の変動や、人間社会の流動的な面を反映し、いろいろな街の様相が変遷しています。都市再生整備計画の中で、集約されたまちのイメージが提案され、現段階では最も必要なものと考えられていますが、もう少し地域性に根差したまちづくりを考えていかないといけないと考えています。また、コミュニティづくりを本格的に考えていく中で、まちづくりを考えていくことが大切だと思います。多くを望まわずバランスの取れた不快感を持つことがない、地球環境を大切にしたい街づくりのアプローチがポイントになると思います。具体的にはSDGsがどのようにまちづくりに組み込まれていくのか、利益中心の考えから暮らしの質を重視した考え方へと、どのように転換していくのが大切だと考えます。

ノーベル生理学賞を受賞した本庶佑さんが書いた本に、「幸福感に関する生物学的随想」があります。多くの方々が幸福論について書いていますが、本庶さんのアプローチの仕方は生物学的に追及していくという心地よさがあります。文末に、「極めて平凡な私の結論」としながらこうまとめています。「つまり、不快感のない安らかな心の状態に達した上で、時折の軽い不快感によってそのありがたみを確認し、時折の快感刺激によって人生の楽しみを実感することができれば最高の幸せだ」これは真を突いているのではないかと感じています。

各小中学校は25日を皮切りに2学期がスタートしました。これから新型コロナウイルスと共存しながら学校生活を進めていきますが、的確に情報を解釈し、子どもたちの安全安心が保たれるように努力していきたいと考えています。

3 前回議事録の承認

7月6日臨時会、7月29日定例会

- ・修正の意見なし
- ・原案のとおり承認

4 教育部長報告

○8月に入り、本市でも新型コロナウイルス感染が散発していますが、市内の高齢者施設、医療施設でクラスターは発生していません。学校は夏休みが終わり2学期の学校生活が始まります。引き続き感染予防に努めつつ、子どもたちの学校環境整備に力を注いでいきたいと考えています。

5 議事

・議案第40号 令和元年度磐田市一般会計歳入歳出決算（教育費関係）の認定について

○市政報告書の教育委員会関係部分を抜粋したものを基に、決算報告として各課から説明します。決算の説明は、例年同様の事業内容は説明を省略し、事業の成果や課題、新規の取り組みについてのみ行うこととし、各課2、3分で進めさせていただきます。最初に補助執行について地域づくり応援課、スポーツ振興課、文化振興課、福祉課、幼稚園保育園課の順で説明し、引き続きで教育委員会事務局各課が説明します。質疑は最後一括して受けたいと思います。

○新規事業は特にありませんので既存事業の補足説明をします。地域活動支援のうち、交流センター等施設管理事業の工事ですが、学習等供用施設竜洋会館解体工事が、令和2年3月16日に完了しました。現在は更地となっております、地域行事や祭典時など、必要に応じて地元に開放している状況です。

次に地域活動支援事業いわたゆきまつりですが、2月2日に開催する予定でした。新型コロナウイルス感染症の影響はありませんでしたが、暖冬による雪不足により直前での開催中止となりました。

障害学習推進事業のうち、30歳の大同窓会「三十祭」は、2月29日開催予定でしたが、こちらは新型コロナウイルス感染拡大の懸念を受け、参加者の安全が担保できないことから開催を断念しました。

成人式開催事業ですが、こちらは1月12日の開催であったため、かろうじて新型コロナウイルス感染症の影響を受けずに、例年通り5会場で実施することができました。昨年度は2月と3月に予定した事業以外は、地域イベントや交流センター事業についても、予定通り開催することができました。

○体育施設管理事業のうち工事の状況は、施設老朽化に伴い磐田市総合体育館の東・南面の外壁等改修工事及びアミューズ豊田のメインアリーナ・サブアリーナ屋根改修工事を実施し、安全性の確保に努めました。

スポーツ教室等開催事業のうち主なスポーツ教室・イベントは、スポーツへの関心を高める新たな取組として、スポーツ推進委員と連携し、ポッチャ体験会、ポッチャ交流会を実施しました。ポッチャは、障がい者をはじめ、子どもから高齢者までの幅広い年代層が参加できるスポーツであり、スポーツ推進委員の講師派遣も増加の傾向にあることや、パラリンピックの種目でもあることから、市民にスポーツを楽しみ、親しんでもらう手段のひとつとして継続し、普及等に取り組んでいきたいと考えています。また、補助金交付関係は、マイクロバスの購入費として磐田市体育協会補助金

を 500 万円増額しました。

地域スポーツクラブ事業のうち体験教室は、これまで実施してきたものを定期的な形のレクスポサークルとして、前期・後期の各 12 回で実施しました。参加した生徒からは、「日頃できないスポーツに親しむことができ、専門の指導者の指導が受けられた。」「他校の生徒との交流ができて良かった。」などの感想を聞いています。

戦略的スポーツイベント活用事業は、ラグビーワールドカップ 2019 公認チームキャンプ地として、アイルランド、ロシア、オーストラリアの 3 カ国の受入れや、東京 2020 オリンピック・パラリンピックの事前合宿として、トランポリンのアメリカ代表チームの誘致を行いました。ラグビーワールドカップの機運醸成の取組では、120 日前からの 10 日おきのカウントダウンイベントや、開幕戦のパブリックビューイングを実施しました。それらにより世界的スポーツ大会を通じたスポーツ振興が図られ、情報発信によるシティプロモーションを推進することができました。実施に際しては多くの小中学校にもご協力をいただきました。その取組は、文部科学白書に掲載されました。

また、来年度に延期された東京オリンピック・パラリンピックは、新型コロナ感染症の影響により開催の結論が出ていませんが、実施に備え引き続き磐田の子どもたちをはじめ、多くの市民の心に残るような事業を展開していきたいと考えています。

最後に成果と今後の課題のうち、課題としましては、施設の老朽化により修繕個所が増加しているため、引続き優先順位を検討し改修を行い、予防保全に努めていきたいと考えています。

また、学校部活動の今後の在り方の検討を踏まえ、市全体で部活動について協議する仕組みづくりを進めながら、磐田スポーツ部活の継続の検討を行っていきます。

最後に、コロナ禍で感染予防対策を取りながら、安心安全を考えたスポーツ教室、イベント等の実施や施設の管理運営に努めていきます。

○文化芸術振興事業は、文化振興会で行っているもので市からの補助金を受けて実施しています。3月に行われる予定であった「青春ヒットソンググラフィティ」、「磐田寄席」は新型コロナウイルス感染症拡大の影響で中止となりました。

青少年文化芸術活動育成支援事業は、例年どおり市内の高校生の演劇のレベルアップを目的に委託をしています。こちらも新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、3月に行われる終了公演開催できませんでした。市内中学校の吹奏楽部のレベルアップを図るために、吹奏楽の公開クリニックを例年どおり実施しました。また、器楽指導者派遣事業ということで、器楽指導者を各中学校に派遣しました。

香りの博物館施設管理事業では年に 4 回、四季に合わせた企画展を実施しました。7 月 14 日から、10 月 14 日まで開催された「絵本と香り展」は、「にこっと」とも連携をし、スタンプラリーを開催し、市民の皆さまに大変好評な事業でした。

今年度は新型コロナウイルス感染症の対応によって、事業や公演、小中学生の指導派遣など、問題を色々抱えておりますが、工夫しながら頑張っていきたいと考えています。

○福祉課では、人権教育啓発推進等事業を例年どおりに実施しました。基本的に事業そのものに大きな変更点はありませんが、講演会や映画会などについては、年度によって内容を変更しています。

具体的な成果については、人権教育講演会の講師にシンガーソングライターの立木早絵さんをお迎えし、トーク&コンサート「さらなる一歩を踏み出そう」と題して講演とコンサートに加え、袋井特別支援学校磐田見付分校ハンドベル部の皆さんによる演奏も行いました。

今回は人権問題を身近に感じてもらえるよう、歌と語りを交えたコンサートのような講演会を実施しました。講師の立木さんは 2 歳の時に病気で失明しましたが、現在はシンガーソングライター

として全国でライブや講演、執筆活動を行っています。当日は226名の方が参加され、講演後のアンケート結果では、講演に満足した方が80.5%、人権問題への関心が高まった方が約90.2%であり、講演会開催による効果は大きかったと感じています。

課題としては、これまでも広く市民に向けた人権啓発を行っているところですが、人権の範囲も多様化していることから、事業内容についても必要に応じて見直していきたいと考えています。

また、事業の実施にあたっては新型コロナウイルス感染防止対策の徹底をはじめ、状況に応じて事業の縮小、中止など、安全に配慮しながら柔軟に対応していきたいと思えます。

○最初に、磐田なかよしこども園整備事業についてです。この事業は、平成30年度からの継続事業ですが、令和元年度は、旧園舎の解体工事と園庭の整備を行いました。令和元年8月には、全ての整備工事が終了し、2学期からは、園児が新たな環境の下で、のびのびとした保育を受けることができるようになりました。また、なかよしこども園の開園に伴って閉園となった、磐田中部幼稚園についても、園舎の解体工事を行いました。

続いて、幼児教育・保育の無償化についてです。令和元年10月から、3歳から5歳までのすべての子どもたちの幼稚園、保育所、認定こども園の利用料が無償化されました。これに伴い、幼稚園や認可こども園などにおける保育料や入園料、預かり保育料について、無償とする対応を行いました。

続いて、幼稚園トイレ環境改善事業についてです。より良い幼児教育を行うための環境整備として、公立幼稚園と認定こども園あわせて13園に85基の暖房便座を設置する工事を行いました。

最後に、今後の課題についてですが、幼稚園に限らず保育園等も含めた全体に渡る課題として、支援を必要とする子どもへのきめ細やかな対応が挙げられます。現在においても、保護者や発達支援事業所、医療機関等の関係機関と連携をとりながら対応を進めているところですが、今後は更なるネットワークづくりや連携の強化に向けて、研修などを通じた職員のスキル向上、経験の積み重ねが必要であると考えています。

○初めに、教育委員会事務局事業についてです。成果には、教育委員の活動支援、学校事務の標準化を挙げました。学校事務の標準化は平成29年度から着手し、令和元年度は平成30年度に統一した事務引き継ぎ書や通知文書の活用について、各校への浸透や校納金処理システムの統一などを進めました。

次に、新たな学校づくり事業についてですが、成果はながふじ学府一体校建設工事への着手と、向陽学府一体校整備に向けた学習会の実施などの準備を挙げました。ながふじ学府一体校の現在の進捗状況ですが、7月の長雨の影響を受けて若干遅れておりますが、来年1月末の完成に向け、修正可能な範囲で進んでおります。向陽学府一体校整備については、基本構想、基本計画策定に向け受託業者の選定作業を進めており、今後は学識経験者やPTA、地域住民、教職員の代表などで組織する検討会なども実施していきます。

次に、施設設備の整備状況の成果は、小中学校の普通教室へのエアコン設置、体育館照明器具のLED化、洋式トイレの暖房便座化です。課題は、学校施設全般の老朽化に対応した適正な維持管理と認識しております。

教育振興事業は、就学援助費や就学奨励費の支給事業について、これまで同様に制度の周知に努めました。令和元年度の就学援助率は、小学校7.4%、中学校7.8%、合計7.5%で、前年度が7.3%であったことから若干増加しております。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、家計が急変した世帯について、小中学校への対応依頼のほか、ホームページや広報誌などで周知しています。今後も学校との連携や制度周知により必要な人を確実に援助できるようにしてまいります。

最後に、青少年健全育成事業のうち、放課後児童クラブ運営事業についてですが、利用者増加への対応のため、定員の増加や夏休み期間の臨時開設などを行うとともに、支援員の資質向上のため、全体研修などを実施してまいりました。課題は、児童クラブ利用者の増加傾向を踏まえた将来予想と、関係機関との連携や地域資源などの活用、クラブ運営職員のさらなる質の向上であると考えております。

○令和元年度の新たな取り組みはありませんでしたが、成果として学区内で収穫された農産物を直接農家から購入する取り組みなどにより、市内産野菜の使用割合が19.4%となり、前年の19.1%から0.3ポイント上昇しました。また、食物アレルギーへの対応については、現行の施設で可能な取組みが完了しており、食物アレルギーを有する児童生徒との丁寧な面談の実施等により、アレルギー事故もなく、適正に実施されています。なお、新型コロナの影響で、3月4日以降の給食は中止となりました。

課題については、施設設備の老朽化に伴い修繕が増えてきていることへの対応で、今後でもできる限り計画的に修繕や備品の配置を実施していきます。

○個に対応する教育のふるさと先生制度を活用した生徒指導の充実についてですが、一昨年度は、小学校に1名、中学校に1名配置しておりますが、現状の不登校の対策、個に応じた対応を加味しまして、昨年度は中学校2校に生徒指導対応のふるさと先生を配置しました。この事により保健室登校、不登校生徒に対応する職員が増え在校時間等が長くなるなどの成果が上がっておりますが、まだまだ不登校児童生徒は増えておりますので、今後もその対応に取り組んでいきます。

情報化に対応した教育は、全中学校の3年生の通常学級及び特別支援学級への大型モニターと、実物投影機の整備を完了させました。また、GIGAスクール構想に向けて、さらに充実した活用となるように取り組んでまいります。

個別学習を可能にするドリル学習ソフトの導入、いわゆるeライブラリーを昨年度導入しました。今回、コロナ禍においてこの活用を図って成果が上がると認識しています。

成果と今後の課題は、中学校での通級指導教室も2年目となり小中の連携が図れていると感じています。保護者からも安心して子どもたちの支援をしていただいているという声も挙げられています。併せて、こども・若者相談センターとの連携が大変効率的に効果的に行われていて、いろいろな家庭状況に対する、子どもたちの不安解消へ大きな一歩が踏み出せていると思っています。

○施設管理事業の新たな取組みとして、図書館職員が講師となって、資料の検索や予約の仕方など図書館利用について説明をする「図書館活用講座」や、脳の活性化や認知症予防に効果があるとされる、声を出すこと「音読教室」を実施するなど、図書館利用を促す事業実施に努めました。課題は、より多くの方に足を運んでいただくための仕掛けの実施と、施設管理面における老朽化が進んでいることへの計画的な修繕対応と考えています。

子ども読書活動推進事業については、読書の大切さを伝え、子どもと保護者がともに本に触れ親しむ事につながる企画等を、積極的に進めていきたいと考えます。

図書館資料整備事業の成果は、4館合わせて1つの図書館であるという共通認識を持ち、同じ資料を複数館で所蔵しないよう調整したことで、厳選した資料収集が図られました。課題は、各館の特徴を活かす書架づくりはもちろん、貴重な地域資料等の電子化による保存や、電子書籍サービスの活用充実であると考えています。

図書館視覚障害者サービス事業については、音訳や点訳の協力員の大きな力により事業実施がされています。外部講師などによる勉強会などを通し、協力員のスキルアップを図ることによりサービスの充実につなげていきたいと考えています。

○文化財の保存整備と普及啓発は、文化財保護審議会をはじめとして、市内の文化財に関する検討や協議を実施しています。成果と課題は善導寺大クスの樹勢回復に向けて、継続して取り組んでおります。また、国分寺跡整備事業では、国有地の無償譲渡の手続きが完了し、本市が取得する手続きも完了しました。課題として、国分寺跡の学術的な諸条件の整理が必要で、解決に向けては外部の有識者の指導、助言が必要になりますが、新型コロナウイルス感染症の影響により、県をまたいだ移動が困難な状況で苦心しているところです。

歴史文書館は歴史資料の収集や保存また、所蔵資料を用いて展示することで、地域の歴史文化を伝え残していくための事業に取り組んでいます。課題として市の公文書をはじめとして、20万件を超える文書の保管をしていて、適正な文書の保管場所の確保また、検索をするための目録の整備などが時間を要し非常に苦労しているところです。このため、目録検索システムを導入するための、準備作業としてデータ化する作業を順次進めています。

埋蔵文化財調査は開発行為や公共事業にともなう調査発掘の実施をしていますが、成果としてJR御厨駅南口へのアクセス道路の敷地内調査築造が計画通り終えることができたことが大きな成果です。課題として、人材確保と育成を掲げておりますが、今年度、新たに2名の増員があり、この2名を長期的な観点でしっかりと育成していきたいと考えております。

施設・史跡の管理運営の課題として、それぞれの施設の老朽化が進んでおり、どのような手法で保存、修繕していくのかが挙げられます。今年度も引き続き検討を重ね、作業を進めていきます。

<質疑・意見>

○幼稚園型認定こども園の保育枠定員より、通園している園児が多い園がありますが、今後の対策などがあれば教えてください。

○職員配置や面積要件を満たしていれば定員を超えて受入することは可能ですが、長期的に見るとよい状況ではありませんので、今後、再編計画等を進める中で保育枠の確保に努めていきたいと考えています。

○スポーツ塾で柔道を3校で実施していますがこれは中学生が対象ですか。また、今年度実施する予定があれば教えてください。

○中学生が対象となります。今年度の種目や実施については新型コロナウイルス感染症の影響もあり調整中です。

○コミュニティフォーラムは今後実施される予定がありますか。

○昨年度から実施をしていませんが、今後の予定はありません。

○コミュニティフォーラムは実施していませんが、コミュニティ・スクールの在り方そのものは、進化させていく必要があると考えていますので今後、研究していきたいと考えています。

○磐田市の学校教育は小中一貫教育や小中一体校化を含めて、相当高いレベルまで来ていると私は認識しています。それを支える地域のコミュニティを育てるという意味では、コミュニティフォーラムは大きな歴史的実績があり、積み上げの成果だと感じています。学校の中に学校運営協議会があることは、学校毎に教育委員会があると感じています。学校運営協議会をしっかりと育てることにより自立的、自発的で学校内のアイデンティティを持った学校づくりができると考えています。コミュニティフォーラムは非常に大事な機会だと考えてきましたので、検討いただきたいと思います。

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第40号は原案どおり承認された。

・議案第 41 号 令和 2 年度磐田市一般会計補正予算（教育費関係）の要求について

○15 款 2 項 7 目、教育費国庫補助金のうち、小学校、中学校、保健特別対策事業費補助金は、小中学校における新型コロナウイルス感染予防対策に関わる保健衛生用品の購入に対する補助金で、5 月に補正予算で計上しました学校保健特別対策事業費補助金の追加になります。

学校給食施設整備費交付金と、小学校、中学校施設整備費交付金は、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業に関わる交付金の決定により増額分を計上するものです。

次に、22 款 1 項 6 目、一体校建設事業債は、ながふじ学府新たな学校づくり整備事業の交付金の決定に伴い市債を減額するものです。

次に、歳出を説明します。2 款 7 項 4 目、体育施設管理事業は、新型コロナウイルス感染症対策用品としてサーマルカメラ一式の購入に要する経費を増額するものです。

ジュビロ磐田ホームゲーム、小学生一斉観戦事業は、一斉観戦が中止になったことにより委託料等を減額するものです。戦略的スポーツイベント活用事業は、磐田アンダー12 国際サッカー大会が中止となったことにより、補助金を減額するものです。

10 款 2 項 1 目、小学校施設管理事業事務局分の増額は、歳入でもありましたが、小学校で必要な消毒液等の保健衛生用品の追加購入費を計上するものです。

次に、10 款 3 項 1 目、中学校施設管理事業事務局分の増額は、小学校と同様、必要な消毒液など保健衛生用品の追加購入費 615 万 7,000 円と、バリアフリー環境整備に要する経費 148 万 4,000 円を計上するもので、両下肢不自由のため歩行器を使い生活している児童が、令和 3 年度に中学校へ進学するため階段昇降機、スロープを購入する経費を計上したものです。

< 質疑・意見 >

○サーマルカメラは何台購入し、どこの施設に設置する予定ですか。

○購入は 1 台で、アミューズ豊田に設置予定です。また、カメラは可動式となりまして、他の施設でイベントが開催される場合はそちらでも活用していきたく考えています。

< 議案の承認 >

一同同意

審議の結果、議案第 41 号は原案どおり承認された。

・議案第 42 号 学校医の委嘱について

○市立中学校の学校歯科医について療養のため今年度の業務ができないとのことから、追加で 4 名の歯科医師の方に学校医を委嘱するものです。この 4 名はすでに市内の学校医、園医をされており兼務となります。

また、委嘱期間は令和 2 年 9 月 1 日から、令和 3 年 3 月 31 日までとなります。

< 質疑・意見 >

なし

< 議案の承認 >

一同同意

審議の結果、議案第 42 号は原案どおり承認された。

・議案第 43 号 財産（ながふじ学府一体校調理場備品）の取得について

○この財産の取得は、磐田市議会の議決に付すべき契約及び財産の取得または処分に関する条例第 3 条の規定により、議会の議決を得るものとなりますので教育委員会の審議をお願いします。

これは令和3年4月開校予定のながふじ学府一体校の給食調理施設で使用する備品について、去る7月21日に制限付き一般競争入札を行った結果、静岡アイホー調理機株式会社浜松営業所が落札したものです。備品の詳細につきましては、防水型デジタル台はかり2台、移動台38台、L型運搬車1台、残留塩素計1台などです。なお、納期は令和3年2月28日を予定しています。

<質疑・意見>

なし

<議案の承認>

一同同意

審議の結果、議案第43号は原案どおり承認された。

6 報告事項

(1) 地域づくり応援課

<質疑・意見>

なし

(2) 幼稚園保育園課

<質疑・意見>

なし

(3) 教育総務課

・令和2年度 第2回磐田市スクールバス運行検討委員会報告について

○8月18日に今年度2回目のスクールバス運行検討委員会を開催し、これまで話し合ってきた内容をまとめた、「磐田市スクールバス運行検討委員会報告」について協議しました。「磐田市スクールバス運行検討委員会報告」については、本日11時に会長、副会長から教育長へ提出されました。

<質疑・意見>

○報告書の要点は、「何キロを基準としてスクールバスを運行するのか」、「自治会単位で対象を定めていく」の2つです。距離の基準を検討するにあたり、坂の勾配を考慮した通学距離の換算が盛り込まれ、先進性を持って取り組んだことも重要なポイントだと考えています。

(4) 学校給食課

<質疑・意見>

なし

(5) 学校教育課

<質疑・意見>

なし

(6) 中央図書館

<質疑・意見>

なし

(7) 文化財課

<質疑・意見>

なし

7 協議事項

なし

8 その他

なし

9 次回教育委員会の日程確認

・定例教育委員会

日時：令和2年9月24日（木）午後5時30分から

会場：市役所西庁舎3階 特別会議室

10 閉会